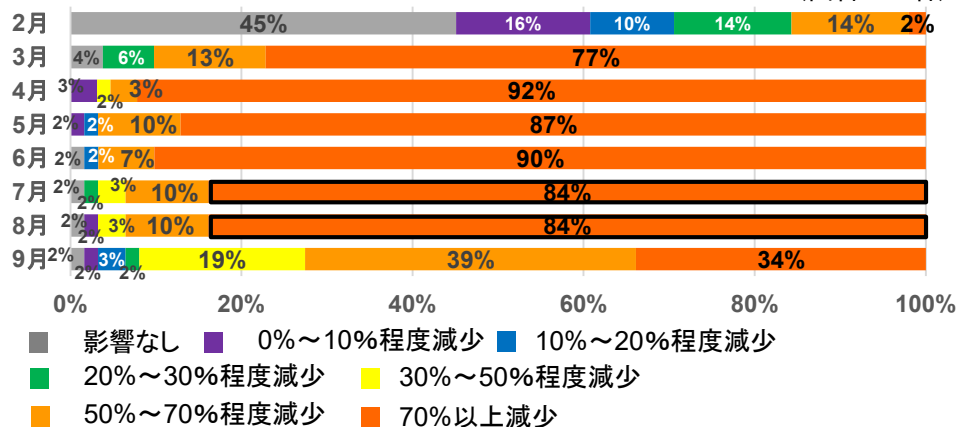


- 7月においては、運送収入が70%以上減少する事業者は全体の84%、車両の実働率は約12%と、依然極めて厳しい状況が継続。
- 8月も、84%の事業者が70%以上の運送収入の減少を見込む等、引き続き厳しい状況が続く見通し。
- 支援制度については、資金繰り支援を84%の事業者が活用しており、約7割の事業者が給付済み（先月の調査時点では、76%が活用、約6割が給付済み）。雇用調整助成金を95%の事業者が活用しており、66%の事業者が給付済み（先月の調査時点では、92%が活用、54%が給付済み）。

○ 運送収入（前年同月比）（8・9月は見込み）

（回答：62者）



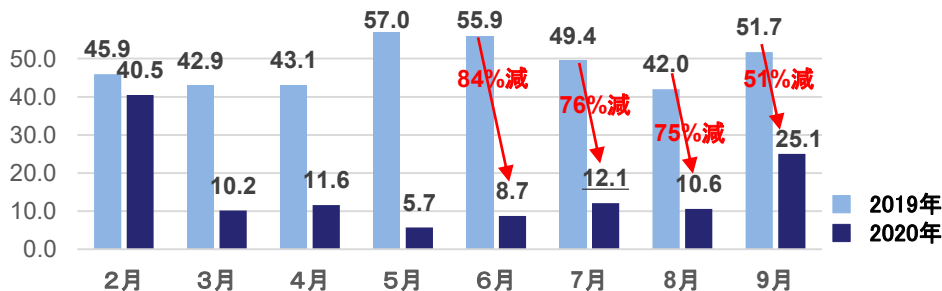
貸切バス業界全体の1ヶ月あたり運送収入減少額（想定）

⇒前年の収入約480億円のうち、約9割の約430億円が減少

（業界全体の売上金額と、7月の減少率から推計）

○実働率（%）（8・9月は見込み）

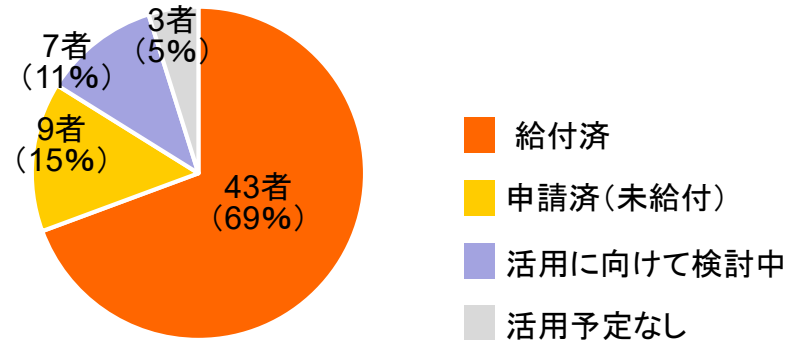
（回答：62者）



○支援の活用状況

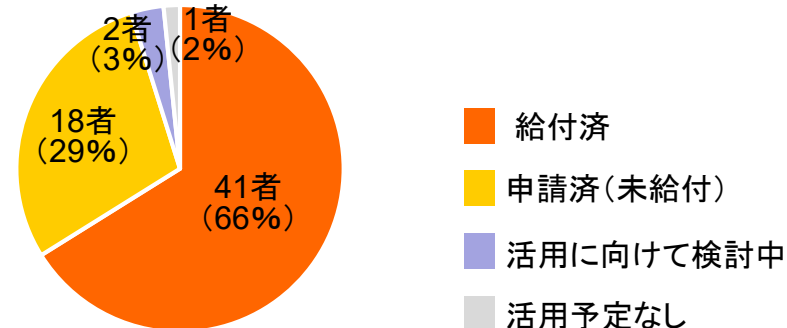
【資金繰り支援】

（政府系・民間金融機関による融資、持続化給付金等）



（回答：62者）

【雇用調整助成金】



（回答：62者）